

主な出来事

【内政】

- 政府は2020年地方選挙を検討。
- 前大統領子息が5億ドルを英国の銀行に不正送金をした疑い。
- 検察がイザベルの不正送金捜査を開始。

【外交】

- 日本政府はモシコ州，ウイジェ州，ベンゲラ州の地雷除去活動に向けた草の根無償資金協力の署名式を実施。総額は85万ドル。
- 2月20日の大統領令56/18にて規定された観光を目的としたアンゴラ入国に際する査証免除並びに査証取得簡素化措置が3月30日より有効となる。
- UNHCRが難民支援に関し64百万の緊急援助アピール。

【経済】

- IMF4条協議ミッションがアンゴラを訪問。2018年成長予想を2.2%に上方修正。
- アンゴラの外貨準備高は128億4000万ドルに下落し，2010年1月以来，最低値を記録した。
- ロビト精油所建設に関し，ソナンゴルが7社に絞られた旨のプレスリリースを発表。

内政

1. 汚職対策

近日中に政府は汚職の度合いによっては最大10年間の禁固刑が課される刑法案を国会に提出する([JA 3/1](#))。

2. 最高裁判所長官の就任

5日，ルイ・フェレイラ氏が新最高裁判所に就任した([JA 3/6](#))。

3. イザベル氏に対する捜査

イザベル元ソナンゴル総裁がサトゥルニノ・ソナンゴル総裁によって不正な資金の移転(3800万ドル)に関して告発されている件について，検察局はイザベル元総裁の捜査を始める([JA 3/6](#))。

4. 国際女性デー

コンセイサオン社会行動・家族・女性担当大臣は，アンゴラの女性に向けて声明を発表。3月8日は女性の社会貢献を認識する重要な機会であり，アンゴラ政府は引き続き女性が直面する課題克服に向けて取り組んでいく旨を表明([JA 3/8](#))。

5. 2020年の地方選挙実施を提案

3月22日，大統領府諮問委員会が開催され，その際にロウレンソ大統領が2020年の地方選挙の実施を提案([OP 3/23](#))。

6. 結核の流行

2015年以降で結核が，交通事故及びマラリアに次いで死因第3位となっており，年間死亡者は9～10万人にのぼる([JA 3/24](#))。

7. 拘留者の脱走

ルアンダ州カゼンガ地区の拘留所で11名が脱走。これら11名の容疑は窃盗、強盗、傷害など様々で、警察側の怠慢が原因で脱走したとされており、うち1名は自主的に戻ったものの残り10名は引き続き逃走中

([PA 3/26](#))。

#### 8. ピエダーデ国会議長が列国議会同盟に出席

ジュネーブで開催される第138回列国議会同盟総会にピエダーデ国会議長が出席。移民・難民問題の解決を目指す世界的な協力体制の強化をテーマとして全体会議が行われた ([JA 3/26](#))。

#### 9. 5億ドル不正送金疑惑

(1) アンゴラ検察庁はソブリンファンド前総裁であるフィロメノ・ドス・サントス氏（前大統領の息子）を捜査中であり、出国禁止措置を執っている事が判明した。ソブリンファンドは5億ドルを英国の銀行に不正送金をした疑いがもたれている。なお同氏が総裁を務めていた期間中に中央銀行総裁の任にあったヴァルテル・フェリペ氏、サシペンゴ・ヌンダ陸軍幕僚長、ノルベルト・ガルシア氏（UTIP長官）、ベラルミーノ・ヴァンドゥーネン氏（APIEX長官）が捜査対象として名があがっている ([OBS 3/26](#))。

(2) ヴェラ・ドス・サントス・ダヴェス財務副大臣（財政・国庫担当）は、現在も同資金はロンドンにあり、国内に戻すための手続きが行われていると述べた ([JA 3/28](#))。

#### (3) 5億ドル不正送金

英HSBC銀行はアンゴラから不正に送金されたとされる5億ドルが入金された口座を凍結したと発表 ([A024 3/28](#))。

#### 10. 競争法 (Lei da Concorrência) の議決へ

9日、第1委員会及び第5委員会所属の議員団が審議を行い競争法の法案について承認。公正な競争を保護するための、原則・規則を盛り込んだ初めての法案となり、公企業・民間企業を問わず適用される見込み ([JA 3/10](#))。

## 外交

### 1. アンゴラ・フランス関係

3月1日、当地訪問中のJean-Yves Le Drain 仏欧州・外務大臣は、ロウレンソ大統領を表敬。またフランスは2億5000ドルのクレジットラインをアンゴラに供与する準備があると述べ、クレジットラインは財務省と結ばれる合意に基づくと発言。大臣は、農業、農産業、再生エネルギー、家族農業開発、人材育成の分野で協力を深めたいと述べた ([JA 3/2](#))。

### 2. アンゴラ・ロシア関係

3月5日、アンゴラを訪問中の露ラブロフ外相はロウレンソ大統領と会談し、ロウレンソ大統領からロシアにはダイヤモンド産業だけではなく、ガス部門のように他の経済セクターにおいても協力を仰ぐ旨表明した。またラブロフ外相はロウレンソ大統領が今年中にロシアを訪問することを確認した ([JA 3/6](#))。

### 3. 日アンゴラ関係

3月7日、日本政府はモシコ州、ウイジェ州、ベンゲラ州の地雷除去活動に向けた草の根無償資金協力の署名式を実施。総額は85万ドルで対象となるNGOは英国MAGとノルウェーのNPA。加えてアンゴラ国内NGOであるAADCの学校教室建設の無償資金協力案件も署名された（9万ドル） ([JA 4/8](#))。

### 4. アンゴラ・スペイン関係

3月25日に予定されていたラホイ・スペイン首相のアンゴラ訪問が中止となった。カタルーニャの政治問題対処のため ([AN 3/22](#))。

### 5. アウグスト外相がSADC閣僚会合に出席

3月26-27日にプレトリアで開催される南部アフリカ開発共同体（SADC）に出席するためアウグスト外務大臣が南アを訪問 ([PA 3/25](#))。

### 6. ウレンソ大統領のカーボ・ヴェルデ訪問

26日、ロウレンソ大統領は自身の私用での米国訪問の途中でカーボ・ヴェルデを訪問しフォンセカ大統領と会談を行った。同会談においては、二国間関係、ポルトガル語共同体、査証免除等に話が及んだ ([OBS 3/28](#))。

### 7. 査証免除及び簡素化措置

2月20日の大統領令56/18にて規定された観光を目的としたアンゴラ入国に際する査証免除並びに査証取得簡素化措置が3月30日より有効となる。査証免除の対象国となるのは5カ国、査証取得簡素化の対象国は61カ国(JA 3/28)。

#### 8. UNHCRが支援要請

28日、フィリッパ・カンドレルUNHCRアンゴラ事務所長は、同国連機関はルンダ・ノルテ州に滞在するコンゴ(民)難民への緊急援助のため64百万ドルを必要としていると述べた(JA 3/29)。

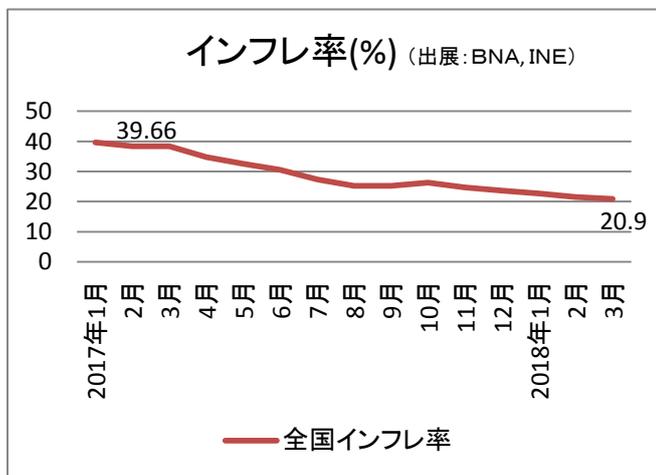
### 経済

#### 1 主要経済指標

##### (1) 物価

ア 国家統計院(INE)が発表したアンゴラ全国版の3月期の年間インフレ率は、20.90%だった。昨年同月比で15.62%下落した。月間物上昇率は1.44%。

イ 物価指数が前月比で最も上昇したのは、各種モノ・サービス(3.20%)、レジャー・レクリエーション・文化(2.30%)、衣服(1.98%)、家具・家庭用品・メンテナンス(1.71%)。



##### (2) 金利

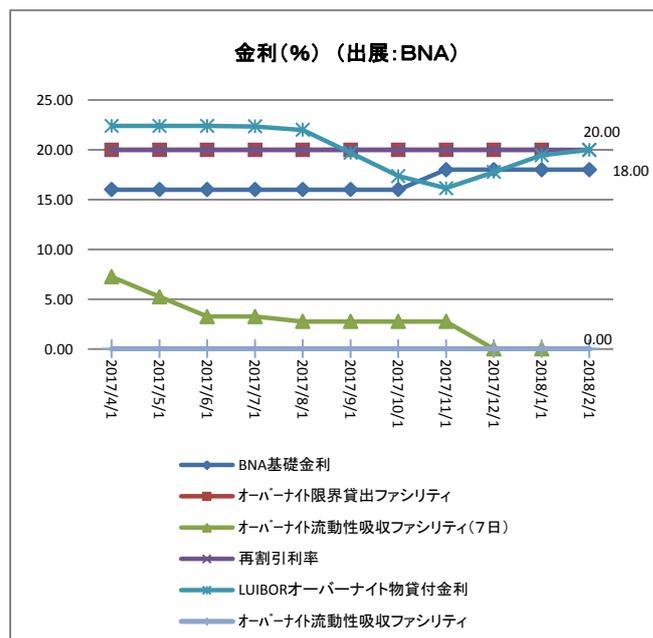
ア 29日に開催された金融政策委員会(CPM)は、政策金利のBNA基礎利率(Taxa BNA)は、年率18.00%を維持と発表。

イ 流動性吸収ファシリティ(市中銀行がBNAに預けている準備預金のうち、法定額を超過した部分に対する利率)は年率0.00%を維持。

ウ 限界貸出ファシリティ(BNAから市中銀行へのオ

ーバーナイト物貸付金利)は年率20.00%で前月と変わらず。

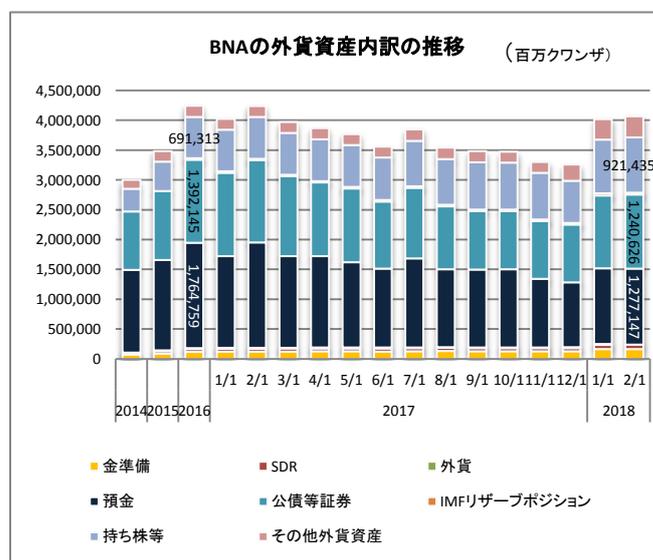
エ クワンザ建て及び外貨建て銀行口座における最低預金額高をそれぞれ21%、15%で維持。

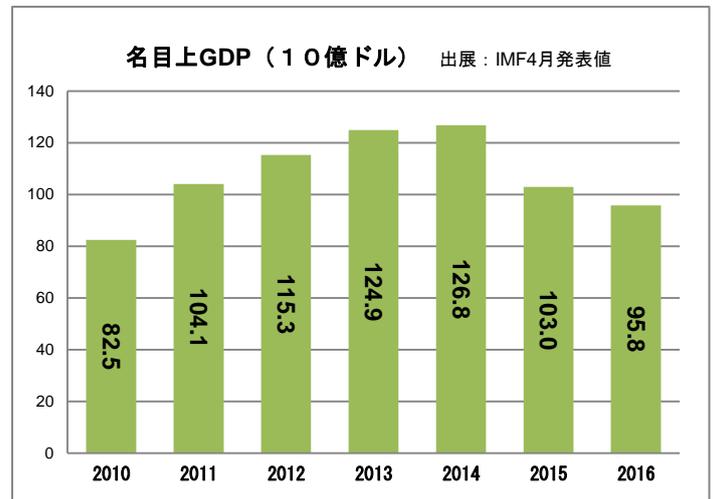
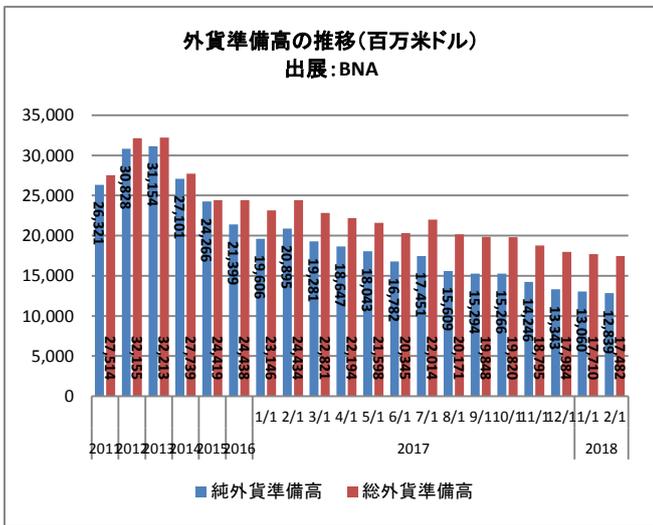


##### (3) 為替市場

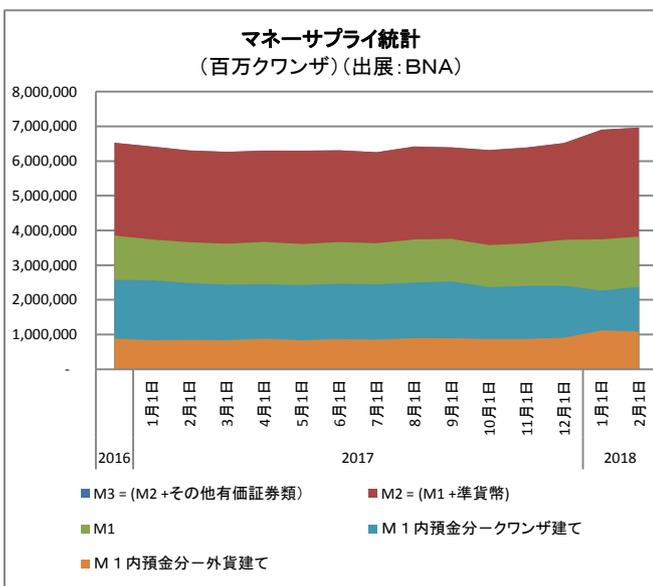
3月31日、為替相場は1USD=214.12350AKZで推移。

##### (4) BNA発表の外貨準備高統計



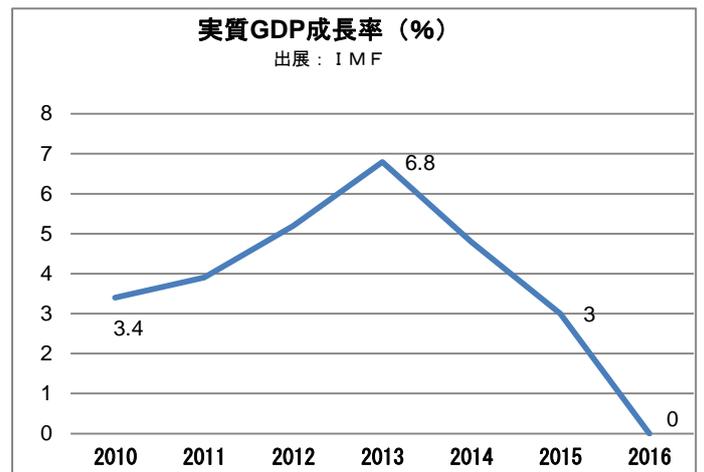


## (5) マネーサプライ統計

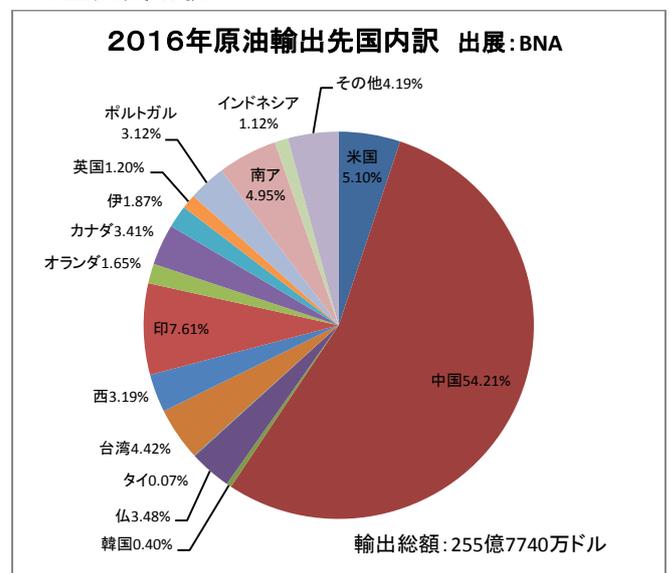


2017	2018	百万クワンザ				
9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2018 1月1日	2018 2月1日	M3 = (M2 + その他有価証券類)
6,396,299	6,318,733	6,391,939	6,521,678	6,906,173	6,966,461	M2 = (M1 + 準貨幣)
6,391,502	6,314,267	6,387,930	6,517,649	6,901,128	6,961,525	M1
3,755,853	3,577,495	3,624,915	3,732,106	3,743,449	3,821,558	M1内現金等流通分
328,836	343,443	348,656	418,567	356,324	356,188	M1内預金分
3,427,017	3,234,052	3,276,255	3,313,539	3,387,124	3,465,370	M1内預金分-クワンザ建て
2,531,624	2,364,570	2,403,868	2,404,214	2,268,179	2,374,425	M1内預金分-外貨建て
895,394	869,482	872,387	909,325	1,118,945	1,090,945	

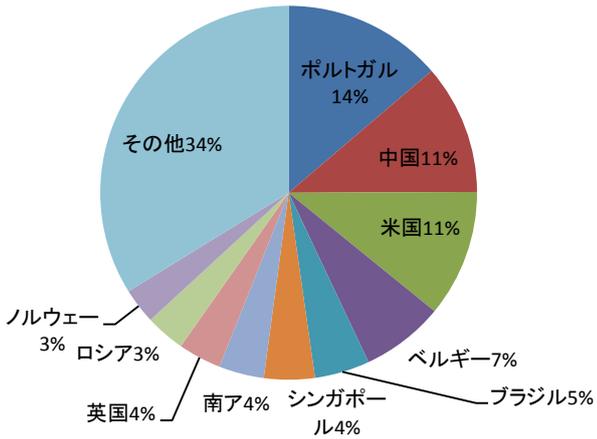
## (6) GDP及び成長率



## (7) 主要貿易統計

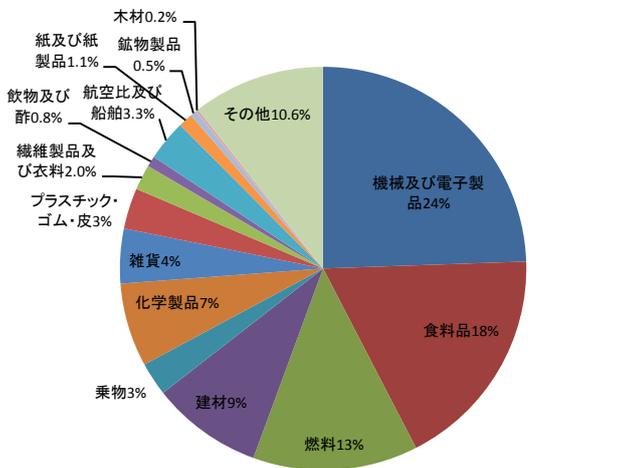


### 2016年輸入先国内訳 出展: BNA



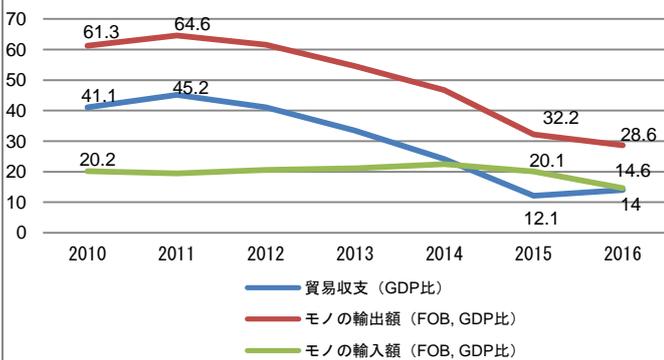
輸入総額: 130億4050万ドル

### 2016年輸入品別内訳 出展: BNA

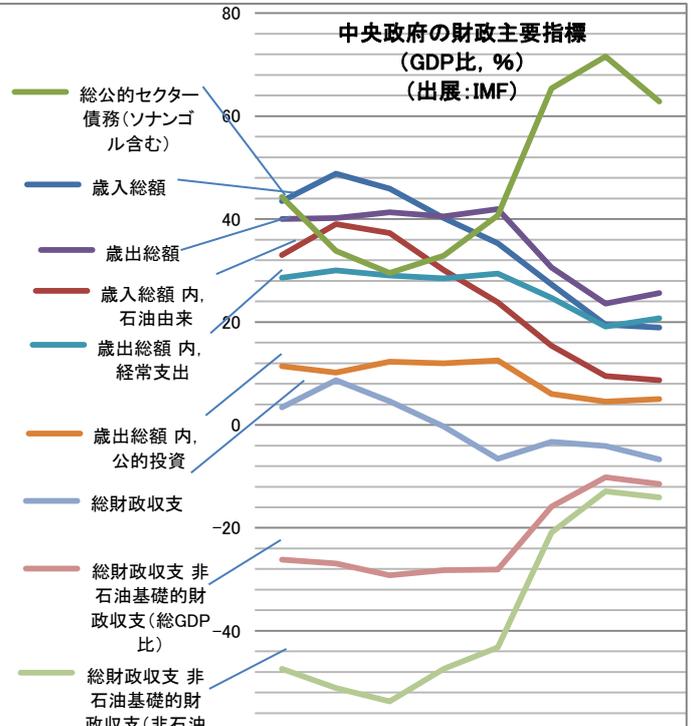


輸入総額: 130億4050万ドル

### GDP比貿易収支 (%) 出展: IMF

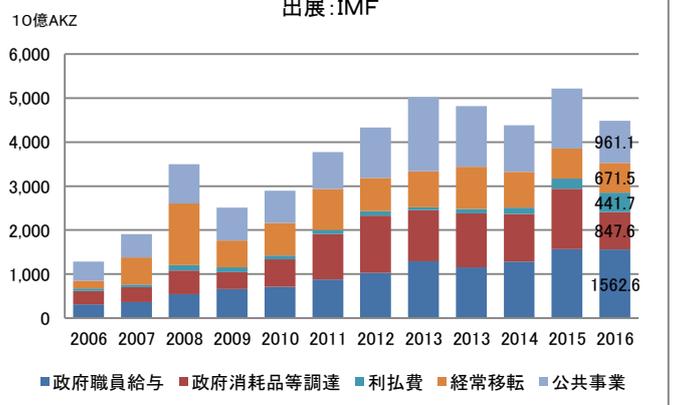


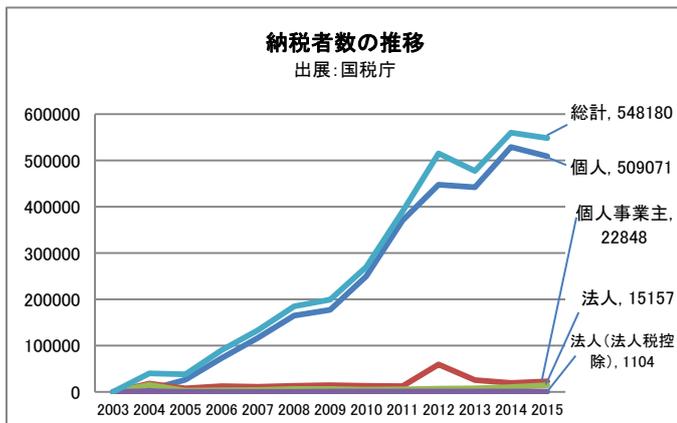
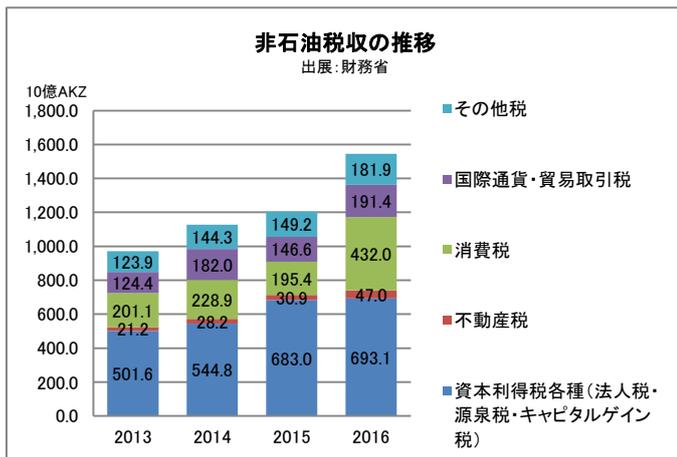
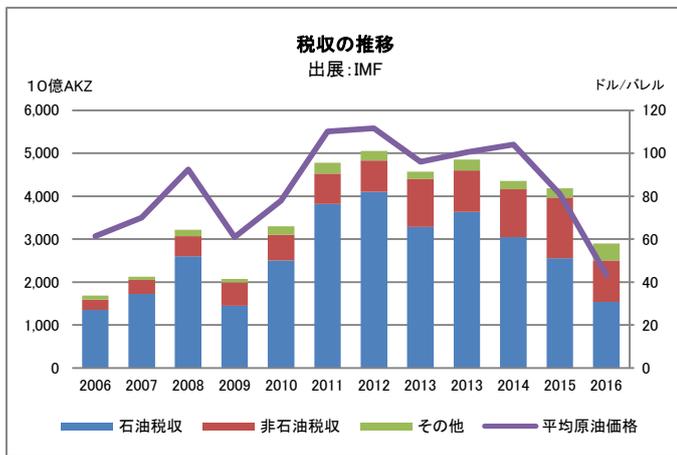
### 中央政府の財政主要指標 (GDP比, %) (出展: IMF)



指標	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
歳入総額	43.5	48.8	45.9	40.2	35.3	27.3	19.5	18.9
歳入総額内、石油由来	33	39	37.3	30.1	23.8	15.4	9.5	8.7
歳出総額	40	40.2	41.3	40.5	41.9	30.6	23.6	25.6
歳出総額内、経常支出	28.6	30	29	28.5	29.4	24.7	19.1	20.7
歳出総額内、公的投資	11.4	10.2	12.3	12	12.5	6	4.5	5
総財政収支	3.4	8.7	4.6	-0.3	-6.6	-3.3	-4.1	-6.7
総財政収支 非石油基礎的財政収支 (総GDP比)	-26.2	-26.9	-29.2	-28.2	-28.1	-15.9	-10.2	-11.5
総財政収支 非石油基礎的財政収支 (非石油GDP比)	-47.4	-51.1	-53.7	-47.4	-43.2	-20.9	-12.9	-14.1
総公的セクター債務 (ソナンゴル含む)	44.3	33.8	29.5	32.9	40.7	65.4	71.6	62.8

### 経常支出の推移 出展: IMF





## 2. ソナンゴル関連

(1) 28日の記者会見においてサトゥルニノ・ソナンゴル総裁は、2015年に130億ドルであったソナンゴルの債務残高は、2016年は98億ドルに減少し、その後2017年は49億ドルに下がったと述べた。同総裁は債務減少の理由は政府が債務を減らすために100億ドルを同社に投入したためであるとした。この100億ドルの内、50億ドルは債務の前払いに、40億ドル

は多岐にわたる支払い及び投資に充てられた(JA 3/1)。

(2) サトゥルニノ総裁は、イザベル氏により主導されていたソナンゴル取締役会は、1億3500万ドルをコンサルのための経費として支払っていたとし、この額は同社の規範からかけ離れていると述べた(JA 3/1)。

(3) 政府は毎月4000万ドルをソナンゴルから税収として徴収している。ソナンゴルは全体でアンゴラ政府に対し、13億ドル相当の納税義務を負う(JA 3/1)。

(4) ソナンゴルEPは国内における石油製品の流通網の中で、同製品の横流しが横行しており、20万ドルの損害をきたしている(JA 3/1)。

(5) 検察局は、前ソナンゴル取締役会の財務担当が2017年11月15日に解任されているにも関わらず、翌16日に3800万ドルをドバイに本部を置くMatter Business Solution社に送金したとして同件を捜査する(JA 3/2)。

(6) ソナンゴルはロビト製油所の建設パートナー候補を6社に、カビンダ製油所のパートナー候補を4社に絞った(JA 3/2)。

## 2. IMF 4条協議ミッション

IMF 4条協議を目的として3月1日~15日の日程でヴェローゾ団長をヘッドとしたミッションがアンゴラを来訪した。訪問終了後、同機関が発出したプレスリリースによれば、アンゴラ経済は緩やかに回復傾向にあり、ロウレンソ新政権はマクロ経済の安定化及びガバナンスの向上に的確に努めている。IMFはまた、アンゴラにおけるビジネス環境の向上は経済多角化の促進や経済成長への課題克服のために極めて重要であると評価した。又、2018年成長率を2.2%に上方修正した(3月16日付けIMFプレスリリース及びブリーフィング)。

## 3. ロビト回廊

3月5日、34年間の断絶を経て、ベンゲラ鉄道公社(CFB)はコンゴ(民)からベンゲラ鉄道を通じロビト港に向かう、1000トンのマン

ガンを乗せた車両を運行した。マンガンの主な輸出先市場は中国及びインド ([JA 3/6](#))。

#### 4. デジタルバンキング

Mckinsey 社の報告書によれば、銀行口座を持つアンゴラ人の45%はネットバンキングを好むという統計がでた。また同報告書はアンゴラの銀行市場を「眠れる巨人」と形容した ([OP 3/5](#))。

#### 5. 金属スクラップの輸出を禁止

3月14日付けの工業省令によれば、今年金属スクラップの国外への輸出は禁止される。この背景には、国内において更に多くの原材料を必要としている製鉄産業を支援するため ([JA 3/20](#))。

#### 6. 為替相場の均衡

アルヴェス・ダ・ロシャ・カトリカ大学教授は、クワンザ安の進行は為替市場における均衡がとれ、並行レートとの乖離がなくなるまで続くべきであり、未だ均衡値に至るにはほど遠いと述べた。また今年仮に歳入が増加することになれば余剰分は債務弁済に充てるべきであると主張 ([OP 3/19](#))。

#### 7. 2015年度財政収支報告

2015年度財政収支報告によれば、同年政府は現在の為替レートで2740億クワンザ（約20億ドル）相当の免税措置を施した ([EX 3/16](#))。

#### 8. 国営メディア会社への助成金

2015年、通信分野の国営会社は国が国営企業に付与する助成金総額（約4億ドル）の内44%を占める約1億7400万ドルの助成を受けた。メディア公社が受けた助成金総額は鉄道公社が受けた助成金の4倍。TPA（アンゴラ国営テレビ）はこの中でもトップの約5820万ドルを受け取った ([EX 3/23](#))。

#### 9. アンゴラ政府がエアバスC295を3機発注

アンゴラ政府はエアバスC295を3機発注し、総額198百万ドルの支出となる見込み。これらの機体は軍用ロジスティクス及び海上パトロール用に使用される見込み。なお契約そのものはエアバス Defence and Space 社とアンゴラ政府系企業 Simportex 社で締結されるもので、3月2日の大統領令で承認された ([A024 3/7](#))。

#### 10. 対ユーロでクワンザ安が進行

6日、アンゴラ中央銀行が外貨オークションを実施し、市場に2百万ユーロを放出。対ユーロで0.916%のクワンザ安となりは264クワンザ/ユーロとなった。なお対ドルレートは231クワンザ/ドル。並行レートでは7日時点で、中値410クワンザ/ドル、515クワンザ/ユーロとなっている ([AN 3/9](#))。

#### 11. アンゴラ2度目のユーロ債発行へ

大統領府はアンゴラ史上2度目となるユーロ債発行（20億ドル）は、アンゴラの対外債務ストック状況の改善に資すると声明を発表。本年2月にはアンゴラ財務省で手続きを開始することが承認されており、マンゲイラ財務大臣によれば、発行に向けて協力を得たのはゴールドマンサックス、ドイツ銀行、中国商工銀行など。なお第一回のユーロ債発行となったのは2015年11月で15億ドル分 ([JA 3/10](#))。

#### 12. 不動産市場が停滞

カルデイラ不動産協会会長が *Jornal de Angola* 紙のインタビューで語ったところによれば、一時的に不動産市場が成長を遂げた後、直近2年間では取引が大きく停滞している。状況打開のため不動産協会はアンゴラ政府に対し、土地法の税制によるワンストップサービスの導入や、不動産業者の資格制度、汚職撲滅等を要求している ([JA 3/10](#))。

#### 13. アンゴラ当局は南ア産物品の出荷を停止

南アフリカでのリステリア流行を踏まえ、アンゴラ当局（農業省）は、Enterprise Foods 社や Rainbow Chicken 社の加工肉製品の出荷停止を命令するとともに、既に購入した消費者については、これらの製品を廃棄するよう指示 ([AN 3/12](#))。

#### 14. 並行市場における為替相場

直近の2週間では、公式為替レートの変動とは異なり、並行市場（道ばたレート）の為替レートに変動は見られない。現在キングーラス（道ばた両替商）のレートは420クワンザ/ドル付近、475クワンザ/ユーロ付近で推移。彼らによると、市場でのクワンザ不足により、急激なドル&ユーロ高を防いでいる一因とのこと ([AN 3/12](#))。

## 15. アフリカ開発銀行によるクレジットライン

アフリカ開発銀行は、アンゴラ投資銀行に対し8000億ユーロ（←数字は報道のママ）の融資を発表。アンゴラにおける中小企業の貿易活動支援が目的（[AN 3/10](#)）。

## 16. イザベル・ドス・サントス氏インタビュー

前ソナンゴル社総裁を務めたイザベル氏がSol社のインタビューで現サトゥルニノ総裁を批判。2016年に当時イザベル氏がソナンゴル子会社の社長であったサトゥルニノ氏を罷免したことを引き合いに出し、自分は報復行為の犠牲者となってしまったと答えた（OBS 3/10）。

## 17. マネーサプライは減少傾向

今月にアンゴラ中央銀行は、銀行規則を変更。これにより各銀行は、顧客の預金引き出し、小切手発行に関し手数料の徴収が可能となった。また中央銀行は現在マネーサプライを減少させており、流通貨幣量は4500億クワンザとなり1月のみで前月比-14%となった。（※12月時点では5200億クワンザ）（[OBS 3/12](#)）。

## 18. 自動車産業の落ち込み

直近4年間でアンゴラの自動車産業は約90%落ち込み、2017年の新車販売台数は約4000台となった。自動車協会（ACETRO）によれば2014年の新車販売数は4万4536台となっている。販売代理店によれば外貨不足問題が原因であり、2018年の見通しも思わしくない（[AN 3/26](#)）。

## 19. 付加価値税（I V A）の導入

昨年10月に承認された行政計画で盛り込まれている付加価値税（I V A）につき、税務局（A G T）は2019年1月から導入する見込み。適用される税率や物品については現在調整中であるが、S A D C地域の平均税率から大きく外れることはない予定（[JA 3/26](#)）。

## 20. アフリカ開発銀行による融資

アフリカ開発銀行は、ベンゲラ鉄道（C F B）をザンビアまで接続するプロジェクトのF/Sに向けて4百万米ドルを融資する旨を表明（[JA 3/27](#)）。

## 21. マサーノ中央銀行総裁のインタビュー

マサーノ中央銀行総裁がオ・パイス紙のインタビューで語ったところによれば、公式レートの引き下げは一段落させるため今後は（レートの）予見可能性が高まると述べた。アンゴラ通貨クワンザは1月10日に中央銀行が新しい制度を導入したことで約30%引き下げられており、I M Fからも前向きな評価を得ていた（[CK 3/27](#)）。

## 22. 外貨準備高の下落

Bloombergによれば、アンゴラの外貨準備高は128億4000万ドルに下落し、2010年1月以来、最低値を記録した（[AN 3/28](#)）。

## 23. 市中銀行への規制

市中銀行は外貨オークション或いは直接取引によって中央銀行から獲得した外貨を獲得日から数えて5日以内にクライアントに放出しなければならない。放出しきれなかった外貨に関しては中央銀行が再度買い取ることになる（ME 3/30）。

## 24. ロビト製油所建設

28日付けのソナンゴル社プレスリリースによれば、2017年第4四半期に始まったロビト／カビンダ精油所建設に向けた国際入札に関して、ソナンゴルは最終的に28の提案書を受け取り、その後の選定を経てロビト／カビンダ双方の精油所に対して各7社（コンソーシアム含む）が最終候補として選ばれたと発表。このリストのトップにENEROIL SA, JGC（日揮）、AVICのコンソーシアムが記載（3月28日付けソナンゴル社プレスリリース）。

## 25. 政府が成長率を下方修正

アンゴラ政府は2018年度の経済成長率を4.9%から2.4%に下方修正する方向で検討している。I M Fは今年の成長率を2.2%、世銀は1.6%と予想（EX 3/29）。

## 26. 政府債務

ヴェラ・ダヴェス財務副大臣によれば、政府はサービス提供会社等に50億ドル強の未払い金を負っている。また同大臣は、この内25%は実際にはサービスが提供された事実がないことも明らかになったと述べた（EX 3/29）。

---

JA: Jornal de Angola, EX: Expansão, MH:Macau Hub, DN: Diario de Noticias, NJ: Novo Jornal, VOA: Voice of America, CK: Club-K, AA: All Africa, AN:Ango Notícias, OBS: Observador, AP: Angop, A024:Angola 24 horas, FT: Financial Times, PA: Portal de Angola, EIU: Economist Intelligence Unit, ME: Mercado, VE: Valor Económico, OP: O País, DV: Dinheiro Vivo, MSN:MSN, Vanguarda: VG